

# 派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2016/10/01～10/31)

## 1. 勉学の状況

新しい授業が二つ始まり、初期に比べ忙しくなってきました。ひとつは現在のヨーロッパの政治形態について考察していく授業と、テロリズムについて宗教を通して考察していく授業です。講義形式の授業が多いですが、少人数でディスカッションもします。様々な国からの人がいるので、色々な視点からの意見を交換するのはとても興味深いです。

前者の授業では卒業論文の研究内容にしようと考えていたスウェーデンの社会保障制度に関する事が学べるので、これからの研究がはかどり始めることを願います。授業形式は少人数で10人ほどです。発言したい事があれば手を挙げてすぐに発言できるような雰囲気です。やはりスウェーデンに来て、授業を受けていて思うのが、皆発言したい事があれば、躊躇なく手を上げて発言するという事です。日本の講義にこの雰囲気はないな。と毎回思います。どちらが良いのかとは断言できませんが、学びが早いのは、やはり発言できるような雰囲気のある授業形体だろうと思います。

## 2. 生活の状況

どんどん寒さがひどくなり、厚いコート、マフラー、手袋必須です。上下ヒートテックは言うまでもありません。部屋に暖房が効き始め、部屋の中の寒さは大分なくなりました。しかし、乾燥が酷く朝起きたときの喉の乾燥がとても酷くて毎朝つらいです。加湿器が欲しいなと毎朝考えます。寒さは酷いのですが、晴れているときの空が綺麗な事、空気が驚くほどに綺麗な事にはとても感動しています。空気の綺麗さには、スウェーデンに着陸して、飛行機を出た瞬間に分かるほどです。そしてもうひとつ、水道水が驚くほど美味しいです。毎日水道水を喜んで飲んでいきます。

スウェーデンのゴミ事情がとても革新的なものがあるのでお伝えします。まず、普段から資源ゴミの分別は当たりまえで、生ゴミは生ゴミ専用の緑色のゴミ袋があります。これをどうするかというと、住居の外にある、ポストのゴミを入れるバージョンのようなものがあり、センサーが反応し、ちいさな扉が開きます。そこにそのゴミ袋をいれるのです。ちなみにこのゴミ版ポストは、生ゴミだけでなく、資源ゴミ以外の一般ゴミもいれられます。地下に落ち、袋の色で一般ゴミと生ゴミを分別しているのだそうです。ここから先はどうなっているのかまだ分からないので調べてみたいと思います。

そしてまた、相変わらず自炊生活が充実しています。ただ、シリアルの種類が沢山あり、これは食事ではない、おやつのようなもので、大量の砂糖が入っていると分かっているにもかかわらず、なくなるとなぜか買い足してしまうということに悩んでいます。このシリアル依存から脱出したいです。